

The Style-Mar2012

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

—里山スタイル—

—Contents—

- 1.style _____
おもてなし交流会
- 2.style _____
NPO法改正について
- 3.style _____
私たちNPOが大切に
してきたもの
- 4.style _____
イベント情報

おもてなし交流会

福知山市三和町出身で東京を中心にフランス料理店を経営されている岡部一己様に、ご自身も一番大切にされてきた「おもてなしの心」について、経験を交えながら講演していただきました。
会場には地域の活性化に興味のある方、飲食店や接客関係者など三和町、福知山市内から110名以上の方にお越しいただき、とても喜んでいただけました。



もてなしの心の原点と成功の秘訣。



小学生の頃、母を真似て料理を始めたのがきっかけとなり、料理人を志すようになり、高校卒業後、三和を離れ、料理の専門学校に進学、同校を卒業した後、銀座の有名なフレンチレストランに就職されました。
その後いくつかのレストランやバーを経て、2002年に独立し、フレンチレストラン「オーグードゥジュール」を開業。
2011年6月現在、7店舗を展開されています。
オーグードゥジュールグループの全7店舗は予約が困難な人気店であり、7店とも独立した個々の店舗のスタッフが責任を持って運営するユニークなスタイルが特徴だそうです。もてなされる側のお客様に対してだけでなく、もてなす側のスタッフへの気配り・信頼こそが今日の成功の秘訣かもしれません。

この交流会を通じて今後、町がどう変わっていくのか。

今日の社会において人を思いやること、信じるのが難しい現実の中、「もてなしの心」の持つ本当の意味は何か？ 福知山や三和の町おこしにおいて、それは福知山や三和を訪れた人に心のこもった対応をするだけではなく、一緒にこの街を変えていきたいと思う人たちが、互いを信じ、それぞれの得意分野を活かし、共に作り上げていこうとする心の在り様なのかもしれません。

「人任せにするのではなく、自分からコトをおこしていかないとなにも始まらない」…ふるさとを離れ、レストラン経営で成功した岡部様の言葉には三和への思いがあふれていました。そして、いずれ今のお店を現在のスタッフに任せ、三和のために尽くしたいと交流会を締めくくられました。

この交流会を終えて「もてなしは特別なことではなく、人々が生きていく上でごく当たり前に必要なことで、その当たり前のことを毎日当たり前に行っているだけ」という岡部様のライフスタイルが印象に残っている参加者の方も多いのではないかと思います。地域に住んでいる者が地域の魅力に気づくことでふるさとが好きになり、それをもっと多くの人に伝えたいという思いが生まれます。そこに郷土愛が生まれ、もてなしの心が自然に生まれてくるのではないかと思います。岡部様だけでなく、多くの人のもてなしの原点は郷土愛から始まるのではないのでしょうか。



NPO法改正について



多様化する社会のニーズを人々の支え合い、地域の絆によって充足するためにNPO法人等の「新しい公共」の担い手への寄附や参画を促進する必要があるため認定NPO制度が制定された。

しかし平成13年に認定NPO法人制度が創設されて10年を経たが、同制度の利用は僅少で、全国の認定NPO法人数231法人（NPO法人全体の0.54%平成23年8月1日時点）、でしかない。認定NPOになると認定NPO法人への寄附者は一定の所得控除、認定NPO法人は法人税の軽減措置（みなし寄附金制度）が受けられる。

改正特定非営利活動促進法のポイント

①制度の使いやすさと信頼性向上の見直し

【活動分野の追加】

これまでの17の活動分野に加え、次の3種類の活動が追加されました。

- 観光の振興を図る活動
- 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動
- 「法第2条別表各号に掲げる活動に準ずる活動として都道府県又は指定都市が条例で定める活動」

【手続きの簡素化・柔軟化】

- 所轄庁への届出のみで定款の変更を行う事ができる事項（役員の定数等）を追加
- 社員総会の決議について、書面等による社員全員の同意の意思表示に替えることができるものとする

【未登記法人の認証取消し】

- 設立の認証を受けた者が設立の認証があった日から6月を経過しても設立を登記しないときは、所轄庁は認証を取り消すことができるものとする。

【会計の明確化】

- 「収支計算書」の名称を「活動計算書」に改正
その際、当分の間「収支計算書」を提出することができるよう、附則（経過措置）で措置
- 活動計算書及び貸借対照表を「計算書類」とし、財産目録を付属書類と整理
- 区分経理に関する運用として、活動計算書において区分すれば足り、事業目的により貸借対照表の区分表示までは義務付けられないように見直し

【補足】会計の明確化について

- 「収支計算書」は収入・支出の動きに焦点を当てた財務諸表→当期正味財産の増減及びその構造に焦点を当てた「活動計算書」に改める
- 現在、有識者からなる「特定非営利活動法人の会計の明確化に関する研究会」において分かりやすい会計の在り方を検討中であり、10月に取りまとめ→手引きに反映予定
- 記載方法、勘定科目例等、「NPO法人会計基準」をベースとしながら、認定法人の取扱い、経過処置の在り方等の明確化を図る方向で検討中

②認定NPOにおける新認定制度・仮認定制度

パブリック・サポート・テスト（PST）について絶対値基準PSTと条例個別指定PSTが追加された

- 絶対値基準PST（実績判定期間において、各事業年度に3,000円以上の寄付を平均100人以上から受ける事
- 条例個別指定PST（申請日の前日までに、主たる事務所又は従たる事務所が所在する都道府県又は市町村から、寄付金を受け入れた場合に個人住民税の控除対象となる法人として条例で個別指定をうけていること。）
- 設立初期のNPO法人は、1回に限りスタートアップ支援として、PST基準を免除した仮認定を受けられる。

tantan Style

私たちNPOが大切にしてきたもの ～人と人のつながり～

私たちNPO法人は「つながり」をテーマに活動をしてきました。人と人のつながりから生まれるコミュニティの力はお金や箱物では解決できないもの、それは誰にでもある「義」の心であり、これこそが地域を変える原動力になるからです。ポイントは地域の課題をそこに住む人自身の手でお金を掛けずにもともとその地域にある人材と資源をつなぎ・ひきだし、そして点と点を線、そして面（ネットワーク化）にしていくということです。

重要なのは地域にとって「人」こそが大切な資源だということです。

例えば福知山を例にこの地域にある資源ってなんだろう？って考えたとき、お城、食べ物、藍染め、鬼、鉄道などを思い浮かべると思います。でもその中に全国から注目を浴びるようなものはそうそう見つかるものでもないでしょう。

そこで「人」が重要なのはその地域を魅力あるものにするのはそこに住む人であり、その魅力を感じて訪れるのも人だからです。

人が魅力を感じるとことはそこにある資源も魅力的なはずですが。魅力だと感じない人が魅力あるものにはできません。その人がもっている知識、経験、アイデアなどがいいものを生み出すキッカケになります。そしてこの「人」をうまく結び付け、その地域の良さをつなぎ・ひきだしていくことが地域活性化のカギとなります。

もう1つのポイントは活性化する側も楽しむことです。

「なんだか分からないけど面白そうだからやってみよう」こんなささいなキッカケでも、1人が2人に2人が3人と一人でも多くの人に関心を持って自分たちの手で地域を良くしていこうと思ってもらうことが重要なのです。やっぱりおもしろく楽しくないと長く続かないし、人も集まりません。だからそれぞれの得意なものを持ち寄り、組み合わせることでこれまで出来なかった斬新なテーマに取組んだり継続的に活動出来るように工夫していくことが必要です。



私たちは去年の暮、KTRにSLを走らせようというテーマで鉄道フェスタを開きました。府民の足であるKTRは日本一の赤字第三セクターで大きな問題を抱えています。地域ぐるみで町の活性化と鉄道がセットにならないと再生は難しいのです。このムーブメントを契機に地域の人を巻き込み、一緒に課題を解決していこうというコンセプトでSLをテーマに交流会を開催しました。

テーマは大きくて魅力あるものとして、ただ現実問題を語るのではなく、問題を実現する為に1つ1つ課題をクリアし、達成するための活動を継続に行っていくことが持続可能な発展に導くか、否かの分かれ道になると思います。まさにこの風潮がこの地域に欠けている問題でもあります。

そして今、私たちNPOのムーブメントが次のムーブメントを創り出し、市内で活躍する若手経営者やこの交流会に関わった学生とOBさんが市民の目線から活性化するKTRアイディアポケットが設置されました。

設立以来、人と人のつながりを私たちは何よりも大切にしてきました。これからもこの地域のために人材と資源のネットワークをつなぎ・ひきだしていきます。

Others

Information

◆ 賛助会員・寄付を募集しております。

賛助会員：(個人) 1口：1000円～

(団体) 1口：10000円～

寄付：1000円～

賛助会員と寄付の申し込み方法はホームページをご覧ください

→<http://www.kyoto-tantan.net/>

またお電話でも受け付けています。→TEL0773-45-3507 (平日9時～17時)

みなさまのご支援、ご協力よろしくお願ひします。

◆ イベント情報

・丹波みわ・コトおこし (軽トラ市) 地域の特産品が大集合、食べて見る楽しみがいっぱい!

淑徳高校料理コーナー・地域の美味しい物が盛りだくさん

お楽しみ抽選タイム (2回)

平成24年3月18日 (日) 10時～15時

場所：三和支所前イベント広場 (福知山市三和町千束)

主催：丹波みわ・コトおこし協議会 <http://tambamiwa-kotookoshi.jp/>

・ふくちドッコいち 食べ物、手作り品、フリマ、手作り体験コーナー

音楽で福知山をつなぐ第10回フレッシュコンサート同時開催

交響詩「福知山」を成美高校と市内中学校吹奏楽部有志が世界初演します

平成24年4月29日 (日) 10時～16時30分

場所：福知山市御霊公園 (福知山市中ノ)

主催：ふくちドッコいち実行委員会 <http://dokkoichi.web.fc2.com/>

編集後記

3月は心をテーマにした取り組みをします。来月から新年度を迎え、新しい出会いと事業が始まります。環境は自分を変えません。心からもう一度見つめ直すことでおのずと周りが変わっていくはずです。

発行元：NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク
〒620-0052 福知山市昭和町77 谷本ビル1F
TEL&FAX (0773) 45-3507
Eメール：tantan@kyoto-tantan.net
<http://www.kyoto-tantan.net/>

※お問い合わせの時間帯は平日9時～17時までです。